

横須賀再興プラン（横須賀市実施計画）における文化振興に関する新たな取り組みについて

1 「横須賀再興プラン」について

「横須賀再興プラン」は、基本構想・基本計画に基づく具体的な施策を示した実施計画であるとともに、横須賀の再興に向けたロードマップで、計画期間は平成 30 年度から平成 33 年度までの 4 年間となっています。

本プランに掲げるさまざまな政策・施策を実行し、横須賀の経済の再興と福祉の充実の両立を図り、これにより、最終的には「日々のことや将来に対して不安を抱えている市民に寄り添うことができる」「困った状況に陥っても住民同士の助け合いが自然と生まれる」、そのような地域社会の形成、「誰も一人にさせないまち」の実現を目指します。

○取り組みの方向性

中長期的な視点での「目指すまちづくりの 3 つの方向性」と、その方向性を意識した上で、重点的、戦略的に取り組む 4 つの「最重点施策」を掲げています。

（1）目指すまちづくりの 3 つの方向性

- I. 海洋都市
- II. 音楽・スポーツ・エンターテイメント都市
- III. 個性ある地域コミュニティのある都市

（2）4 つの最重点施策

- （柱 1）経済・産業の再興
- （柱 2）地域で支え合う福祉のまちの再興
～住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちの実現～
- （柱 3）子育て・教育環境の再興（整備・充実）
- （柱 4）歴史や文化を生かしたにぎわいの再興
～「観光立市よこすか」の実現～

2 「横須賀再興プラン」における文化振興に関する新たな取り組みについて

(1) 軍港資料館等整備事業

(平成31年度から、ルートミュージアム整備事業に名称変更)

平成30年11月に策定された「ルートミュージアム事業計画」に基づき、近代化遺産などの観光資源・文化資源を活用することとし、情報発信拠点となるガイダンスセンターと、点在する近代化遺産などからなる施設群（サテライト）を周遊する、ルートミュージアムによる整備を行います。

また、市内の日本遺産構成文化財を含むサテライト拠点へ誘導するため、新たに第二海堡のツーリズム化や猿島ビジターセンター整備に向け、民間事業者と連携しながら発見・体感するミュージアム機能の強化を図ります。

(平成30年度)

- ・基本設計にかかる業務委託・調査コンサル
 - ・建設にかかる測量・地盤調査
 - ・建設にかかる展示設計
 - ・VRなどのデジタルコンテンツの制作
 - ・建設にかかる建築設計
- など

(平成31年度)

- ・ガイダンスセンター建設にかかる展示製作
 - ・ガイダンスセンター建設にかかる工事監理
 - ・VRなどのデジタルコンテンツの活用・制作
 - ・ガイド育成研修
 - ・建設にかかる建築設計
- など

※ 中核拠点整備スケジュール

- ・平成30年度：基本設計、測量・地盤調査、建築設計、展示設計
- ・平成31年度：建築設計、展示設計、建築工事、展示製作
- ・平成32年度：建築工事、展示製作、開館

* VR (Virtual Reality)

コンピュータにより人工的な環境を作り出し、スマートフォンなどを用いて、あたかもその場所にいるように感じさせる映像技術。

(2) 浦賀奉行所開設 300 周年記念事業

江戸時代から幕末まで歴史的に重要な役割を果たした浦賀奉行所が、平成 32 年(2020 年)に開設から 300 周年の節目を迎えることを記念して、浦賀やその周辺地域に活力とにぎわいを広げるため、各種事業を実施します。

平成 31 年度は、プレ事業として講演会やシンポジウム、奉行所関連の企画展の開催や P R 事業を強化することで 300 周年に向けた機運を高めます。

また、横須賀アートフェスティバル事業(後述(3))における浦賀ドックの産業遺産を活用したプロジェクションマッピングや、「浦賀港周辺の活性化」の取り組みにおけるレンガドック竣工 120 周年と連携することで、賑わいの創出を図ります。

(平成 30 年度)

- ・リーフレットの作成
- ・ P R ブースでの周知
- ・各種メディアでの周知
- ・浦賀地域や学校教育での取り組みの実施 など

(平成 31 年度)

- ・プレ事業の実施
(講演会などの実施、リーフレットやポスターなどによる P R)
- ・ P R 事業の実施(集客イベントでの P R、 T V などのメディア誘致)
- ・奉行所ゆかりの地との連携の検討 など

(3) 横須賀アートフェスティバル事業

【芸術文化を活かしたまちづくりについて】

本市を代表する猿島などの歴史遺産や「夜」をテーマに結びつけた話題性の高いアートイベントを開催します。実施にあたっては、観光やインバウンドと連携しながら市内外からの誘客を図り、周辺市街地の飲食店や宿泊施設などの利用を促進することにより、まちの賑わいや経済活性化につなげます。

また、自然や歴史遺産を音楽・アートなどの切り口で発信することにより、世横須賀の新たな魅力を創出します。さらに、より幅広い世代が気軽にアートに触れ、参加する機会を創出し、市民のアート活用に対する機運を高めます。

(平成 30 年度)

- ・仕組みづくりのための調査・研究など

(平成 31 年度)

- ・浦賀ドックの産業遺産を活用したプロジェクションマッピング
- ・衣笠山公園を活用したアートイベント
- ・市民文化祭における参加型プログラムの実施 など

(4) 街なかミュージック支援事業

市、事業者及びアーティストが協力し、まちなかをステージとした音楽ライブの場を創出・提供するとともに、アーティストやその活動、イベント情報等を発信し、常に音楽にあふれた、ワクワクする街づくりを進めていきます。

- 〔目指す方向性〕
- ・常に音楽があふれた、ワクワクする街
 - ・音楽を通じて、グルメやイベントも楽しめる街
 - ・音楽を楽しく奏でることができる街

(平成 30 年度)

- ・ライブの場の創設のための実証実験の実施

(平成 31 年度)

- ・ヨコスカ街なかミュージックライブの実施（実施地域の拡大）
- ・ヨコスカ街なかミュージックライブ情報の発信協会
- ・横浜音祭りとの連携 など

(5) エンターテイメント推進事業

エンターテイメントをテーマに、市内外への発信力の高い取り組みを実施することで、にぎわいを創出し、新しい都市魅力につなげます。

①「横須賀音楽・夢プロジェクトの推進

(公財)横須賀芸術文化財団や音楽企業と連携して、オーディションイベントを行います。また、オーディションで選ばれたミュージシャンとともに、音楽の力でワクワクする機会を提供します。

②猿島ナイトアートイベントの開催

東京湾唯一の自然島・猿島を舞台としたナイトアートイベントを、民間事業者連携して行います。街の明かりや音から切り離された特異な空間をいかした猿島ならではのエンターテイメントの実施により、アートの力でワクワクする機会を提供します。

③「横須賀ダンス・盛り上げプロジェクト」の推進

日頃ダンスに取り組む子どもたちに中心に、街なかでパフォーマンスを行うなど、ダンスの力でワクワクする機会を提供します。

(6) 国際化推進事業（米海軍内の教育機関との連携）

基地内のメリーランド大学が実施する英語学習プログラム（ブリッジプログラム）への市民などの就学を支援するため、募集説明会、見学会、模擬授業などを行います。また、横須賀総合高等学校とキニックハイスクールの短期交換留学を行います。